

鶴見コンクリート 伊勢原工場を視察

長塚市長ら伊勢 原市の幹部職員

伊勢原市の長塚幾子市長ら幹部職員が3日、鶴見コンクリート（横浜市鶴見区、伊藤伸泰社長）の伊勢原工場を訪れた。地元産業育成の観点から市内一円の工場を視察しており、2008年度はスタートから今回で19回



工場内を見学する長塚市長（右）。左は伊藤社長

見学後に長塚市長は、同社の技術力に感心しながら、「これから市の社会基盤整備を支援してほしい」と述べた。

目。
伊藤社長は、「工場的主力商品であるボックスカルバートの製作工程を見学してもらい、さまざま意見をいただくことで地域に貢献する企業を目指したい」と歓迎した。

藤田与四彦工場長が工場の生産能力や高流動コンクリートの特長を説明した後、長塚市長らが工場内を見学。市発注の成瀬小学校浸水対策で採用されたボックスカルバートの製作工程や、品質を管理する製品載荷試験などを体感し